

安心・安全を基盤とした生徒指導の充実



附属天王寺小学校 和田 秀昭
生活安全部

今年度の指導の重点

- ・指導体制の充実をはかる。
- ・予防と早期発見に重点を置く。
- ・問題発生時にはすみやかに組織的に対応を行う。

本校の生徒指導における課題

- ・研究志向から、生徒指導が後回しになりがち。
- ・問題発生時に、その対応をひとりの教員でかかえがち。
- ・教員の異動が多く、引き継ぎが難しい。
- ・教員自身が多忙感をもっている。

児童が日々の学校生活に安心感をもつこと、そして、安全意識を高めることが、集団への信頼、自己肯定感の高まりにつながる。



大阪北部地震発生時の
一次避難



児童の安全確認



台風 21 号の被害



かつての災害や事件、事故についての教訓は語り継がれてきている。それに加え、児童の人生の中で味わったことのない大きな地震、台風を経験するということがあった。学校で、また、家庭で話を聞いた経験があれど、今回のこの体験は、児童が防災について深く考える機会となつたようである。



日々の備えの必要性



安心な学校

一人一人の児童が、安心して学校生活を送るために

- ・一人一人がたいせつにされる学校、学年、学級をめざす。
- ・問題行動への予防、早期発見、早期対応に組織的に取り組む。
- そのためのシステム構築に努める。
- ▲職員会議配付プリントの一部
- ・問題発生時には、すぐにメモし、記録を残す。
- ・職員室電話の横に、地域の方からの要望・苦情等の記録ファイルを設置。
- ・職員会議での「子どもの様子」に関する情報共有。
(生活・安全部が把握した情報、追加の情報)
毎月数回。時間的には、1回あたり数分で連絡可能。
- ・別途、必要性に応じて、事例の詳しい報告と共有。
- ・いじめが疑われるケースについては、その都度、対策会議を実施。
→ 放置すればいじめへつながる、冷やかし、からかい、悪ふざけのレベルを見逃さない。
- ・放課後の校内巡視（トイレ、下足室、清掃用具の片付け等）とフィードバック
- 小さな変化ができるだけ早くキャッチする。
- ・校内を美しく保てるよう、清掃指導をていねいに進める。



安全な学校

まさかのときに備えて

【これまでの取り組みの充実】

- ・避難訓練（不審者対応）6/8
- ・不審者侵入時における職員の対応訓練 5/28
- ・救命救急講習（教職員対象）6/7
- ・防災訓練（火災想定）9/3
- ・防災訓練（地震想定）1/17
- ・プール水泳指導、宿泊行事での避難訓練



▲宿泊防災訓練

【新たな取り組み】

- ・宿泊防災訓練 7/27-28
- ・附属天王寺中学の宿泊防災訓練への参加



▲着衣水泳訓練

保護者・地域との連携



次年度への課題

- ① 教科指導を通した生徒指導の充実～親和的な学習の場へつなげる～
- ② 大規模災害を想定した防災マニュアルの作成と避難訓練の実施
- ③ 生徒指導体制のさらなる充実

生活・安全部の組織的な運営は、年度を重ねるごとに少しづつ改善し、今年度も前進が見られている。生徒指導の分野においては、児童が安心感をもって学校生活を送れるよう、一人一人をたいせつにした教育の充実を図り、問題行動の「予防」「早期発見」「早期対応」に努めていく。学校安全の分野においては、安全マニュアルをさらに改善しながら、児童の安全への意識を高めていきたい。